



窪町だより

窪町小学校令和2年度7月号

窪町小学校ホームページ URL: <http://www.bunkyo-ky.ed.jp/kubomachi-ps/>

今年の夏

校長 松本 絵美子

ふと気がつくと、夏至を過ぎ、校庭の木々も着実に夏の姿に移り変わりを見せています。子どもたちが学校に戻ってきて1か月、通常登校が再開して2週目に入りましたが、例年とは異なり、実質の学期始めと学期末が同居する中で、学校は、まだまだ手探りの状態が続いています。本校においても、文京区の「学校感染症予防ガイドライン」に則った教育活動を行うために、朝や放課後に教職員による校内消毒を徹底するとともに、日々、教職員間で、学習指導の進め方、休み時間の過ごし方、給食や清掃時間の活動の仕方等について、最善の策が取れるよう検討を重ねているところです。

しかしながら、これは、想像以上に困難を伴うことでもあり、安全を最優先に考えると、自ずと様々な制約が生じ、子どもたちの活動を制限せざるを得ない状況が生まれてきます。一方で、学習内容の充実や子どもが生来もっている運動や遊びの欲求の充足を可能な限り保障しようとする、安全面のリスクも高まってきます。これら両者のバランスをいかにうまくとりながら進めていくことができるか、学校として、刻々と推移する状況を見極め、適切に判断し、冷静に実行に移すなど、真の力が試されているときなのだ痛感しています。

一方、子どもたちにとっても、本来、友達同士、触れ合いながら成長していく場である学校において、常に一定の距離を保って生活しなければならないというストレスを抱えながらの毎日となっています。けれども、不安や不満に押しつぶされることなく、困難な状況をたくましく乗り越える力をぜひとも身に付けさせたいと考えています。苦しい現状は、見方を変えれば、子どもたちが自ら考え、判断し、実行する力を身に付けることのできる絶好の機会です。すべて大人からの指示を待ち、それに忠実に従うことをよしとするのではなく、なぜ今、自分を律することが求められているのかをじっくりと考えさせることにより、自ら適切な行動を選択できる力を身に付けさせたいと考えます。

さらには、不安が募るあまり、「病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別が更なる病気の拡散につながる」という負のスパイラルに陥ることのないように、悪い情報ばかりに目を向けるのではなく、正しい知識や情報を伝えることで、わたしたちの周りから決して偏見や差別を生み出すことのないように、指導を徹底していきたいと思えます。

いつもと違う夏。

やがて振り返ったときに、「あのときは大変だったけど、よくがんばった。」と言えるように、学校・家庭・地域がスクラムを組み、互いに知恵を出し合いながら、この難局を乗り切りたいと思えます。引き続き、ご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

下記の2点について、今年度は、中止とさせていただきますことになりました。ご了承ください。

●1・2学期における水泳指導

●体力調査（スポーツテスト）

多様な場面を想定した避難訓練の実施

(避難訓練担当 川上 雪代)

本校では、火災・地震の発生、不審者の侵入等、様々な場面を想定して、月に一度、避難訓練を行っています。

今年度は、休校措置により行えなかった4・5月の避難訓練を6・7月に振り替えて実施しています。方法についても、通常は校庭に避難するところまで実施する地震と火災の訓練を、校庭には避難せず、学級での指導を充実させ、校内放送と内線、Z o o mを使って行うことで、実際の避難行動を理解できるようにしています。

例年、2学期の始業式の日に行う区内一斉の引き渡し訓練も、今年度は中止が決定していますが、どのような状況にあっても、災害はいつ発生するかわかりません。災害時における危険を認識し、状況に応じて的確な判断の下、自らの安全を確保するための行動が取れるよう、様々な場面を想定した訓練を今後も実施していく予定です。

教育相談について (スクールカウンセラー 原口 幸・田中 秀明・土岐 静佳)

今年度からスクールカウンセラーが3名になり、教育相談室を週4日開室することになりました。月曜日と水曜日を土岐SC、火曜日を原口SC、金曜日を田中SCが担当します。

教育相談室では、子どもたちがリラックスし、安心して過ごせるような雰囲気づくりを心がけています。子どもたちが何か困ったときに相談できるのはもちろん、何も無いときでも気軽に話せるよう、日々の関わりを大切にしていきます。また、今年度も4年生から6年生までを対象とした全員面接を行っています。

保護者の皆さまも、お子さまのことで何か気になることがございましたら、どんなことでも気軽にご相談ください。

生活科の学習の一コマから

(2年学年主任 鎌田 雅代)

「めざせ野さい作り名人」の学習で、ミニトマトの苗を植え、観察をしています。子どもたちは、「目・手・鼻・心」を働かせながら、自分の指と葉の大きさを比べたり、葉の数を数えたりと、様々な角度からミニトマトについて調べ、産毛を見つけたり、茎の太さや色が場所によって違うことに気付いたり、葉の表と裏では色や葉脈の様子が違うことを発見したりなど、たくさんのよい気づきを生み出しました。自分が発見したときだけでなく、友達の気づきを聞いたときにも「本当だ!」と発見する喜びを感じていました。

また、「1年生に学校を案内しよう」の学習では、今年は1年生を直接案内することができないため、一人一人が、自分の学校のおすすめの場所を絵や文で表し、本にまとめて渡しました。1年生が読みやすいように、心をこめて、丁寧な言葉遣いで1年生に語りかけるように書く姿に、お兄さん・お姉さんらしい優しい気持ちがあふれていました。

児童の携行品について

登下校時における児童の携行品について、本校では下記のとおり運用しています。ご理解とご協力をお願いします。

- ・家庭における反復・習熟学習及び学習内容に関する共有の必要性を踏まえ、国語及び算数の教科書・ノート・ドリル、道徳の教科書については、常に持ち帰らせるようにします。それ以外は、必要に応じて持ち帰りを指示することとし、日常的には児童・ご家庭の判断に委ねます。